

平成 26 年 4 月 16 日

福大生 Presents ふくしま食と農の情報発信プロジェクト

実施主体：ふくしま食と農の情報発信プロジェクトチーム

構成団体：[うつくしまふくしま未来支援センター]

学生サポーター組織「FURE's」、食・農復興支援担当

[経済経営学類]

小山良太ゼミナール、ふくしま未来食・農教育プログラム

連携団体：JA 新ふくしま、松川アグリ農産、松川地区環境保全事業組合、松川小学校

住友商事(東日本再生ユースチャレンジ・プログラム 2014)、ヤフー株式会社

食農再生推進プロジェクトでは、「風評被害の払拭」・「福島県産の PR」・「持続可能なビジネスモデルの構築」をテーマとした、学生主体による情報発信型の震災復興推進プロジェクトを実施いたします。(詳細は裏面をご参照下さい)

プロジェクトを実施するにあたり、福島大学の近くに圃場を借りて、生産から販売まで一連の流れを実際に体験しながら、情報発信をしていきたいと考えております。

圃場での活動については以下のようなスケジュールを進めていく予定です。その都度、ご案内をさせていただきますので、ご取材をお願い致します。

【年間スケジュール】

		活動内容					生産		
		生産					生産		
		田んぼ	畑(枝豆・落花生)	講義			田んぼ	畑(枝豆・落花生)	講義
4月	上	土壌測定			8月	上			
	中					中			
	下			専門知識の習得		下			
5月	上			農業の基礎知識	9月	上	落水		
	中	田植え	植え付け(枝豆)	・ 低減対策、検査体制について		中			
	下			・ 米、豆の栽培について		下			
6月	上	溝切		・ 県内外事例学習	10月	上	収穫	収穫(落花生)	
	中	中干し	土寄せ(枝豆)	・ 視察(天栄村)		中			
	下			など		下	JA祭り 参加		
7月	上	追肥(ケイ酸カリ)			10月以降...販売イベント、展示イベント(企画中)				
	中		収穫(枝豆)						
	下								

代 表：うつくしまふくしま未来支援センター副センター長

福島大学経済経営学類教授(兼務)

小山良太

学生代表：経済経営学類 3 年(小山良太ゼミナールゼミ長)

小畑裕平

連絡先：080-5749-9906(専用ダイヤル) / 024-548-8380(食農事務室)

メール：gp-taka@econ.fukushima-u.ac.jp

活動企画書

【事業目的】

小山良太ゼミナールでは、今まで「マルシェ」という形で生産者と消費者の間に立ち、福島県産の安全性・おいしさなどを伝える活動を行ってきました。しかし、未だに福島県産の食材への不満や、国や県が示す検査体制、安全性に不信感を持っている人も少なくありません。

そこで今年度は、学生が実際にお米や豆を生産し、生産過程や放射線の検査体制、吸収抑制の対策を行い、それぞれの過程を各種メディアから発信していくことで、福島県産品への信頼を取り戻したいと考えています。さらに、福島県の農家に対して、継続可能なビジネスモデルの提案をしていきたいと考えています。

【事業内容】

生産：農家の方々がやっている同じ方法でお米と移行係数が高い豆類の生産を行います。農業をするにあたり、研究者によるレクチャーを受け、専門知識を習得します。また農家やJA 普及員から、生産の各過程、吸収抑制対策、検査体制などの現状について学びます。

情報発信：プロジェクトの目的である「風評被害の払拭」・「福島県産のPR」・「持続可能なビジネスモデルの構築」の実現ために、コンテンツを制作し、インターネット、テレビ、ラジオなどの各種メディアを通して情報発信していきます。放射性物質検査や吸収抑制対策など難しいテーマについては、視聴者にも分かりやすく解説等を交えながら発信していきます。

販売：収穫した米と豆を商品化します。イベントにも出店予定です。販売方法、パッケージング、商品開発など付加価値を付けるためのアイデアを出し合い、工夫し、さらにその販売方法が継続可能なビジネスモデルになりうるよう活動していきます。

【松川町圃場マップ】(福大より車で 10 分、福島松川スマート IC より車で 3 分)

